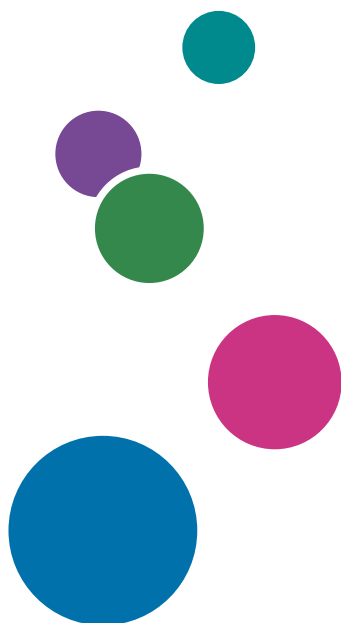




セットアップガイド



目次

使用説明書の読みかた	3
使用されているマークの意味.....	3
おことわり	3
本書についてのご注意	4
使用説明書の紹介	5
Desk Navi の動作環境.....	6
1. インストール	9
Desk Navi の概要と注意事項.....	9
Desk Navi の概要	9
インストール時の注意事項	9
Desk Navi とあわせてインストールされるツール.....	11
RICOH Desk Navi 通知プログラム	11
Ridoc 個人文書コンバーター	11
シリアル番号設定ツール	11
設定エクスポートツール/設定インポートツール.....	11
変換取り込みツール	12
インストール方法	13
インストールの実行.....	14
新規インストールする	14
旧製品をアップデートしてインストールする（これまでと同じ PC で本製品を使用する）	16
新規インストールで旧製品のデータを引き継ぐ（これまでとは別の PC で本製品を使用する）	21
2. インストール後の設定.....	27
Desk Navi から他の機器、ソフトウェアへ接続するための準備	27
証明書のインストール（複合機のと き）	27

旧製品のキャビネットデータのコンバート	28
バックアップと復元	30
バックアップ対象のデータ	30
データをバックアップする	31
データを復元する	32
3. アンインストール	35
アンインストール時の注意事項	35
アンインストール方法	35
4. 付録	36
旧製品から引き継がれる情報	36
商標および著作権	37

使用説明書の読みかた

使用されているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

★ 重要

誤って操作をすると、OS やプログラムの停止、データ消失などの原因になることがあります。また、事前に設定が不足していると機能が利用できない場合があります。必ずお読みください。

! 制限

数値・組み合わせ・機能の制限を説明しています。

↓ 補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

F 参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

[] は、画面のメニューや項目、ボタンの名称を示します。

『 』 は、ほかの使用説明書に詳しい説明があるときに、使用説明書のタイトルを示します。

おことわり

- 本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 大切な文書やデータは、コピー（複製）をとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本製品に異常が生じた場合、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウェア等に対する予防措置は、お客様の責任で講じてください。
- お客様が本製品を使用して作成した文書やデータを運用した結果について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本書についてのご注意

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様がご使用の製品画面とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 画面の表示内容やイラストはバージョンによって異なります。本書は Windows® 10 を例に説明しています。
- 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。
- 本文中では、RICOH Desk Navi は「Desk Navi」、Eco Friendly Print UX は「Eco Friendly」と記載します。
- 本文中の「Ridoc Smart Navigator」とは、Ridoc Smart Navigator V2 以降のことです。
- 本文中の「旧製品」とは、以下の製品のことです。
 - Ridoc Desk Navigator Ad
 - Ridoc Desk Navigator Ad V2
 - Ridoc Desk Navigator St
 - Ridoc Desk Navigator St V2
 - Ridoc Desk Navigator Lt V1
 - RICOH Desk Navigator V3
 - Ridoc Desk Navigator V4

使用説明書の紹介

本製品には、以下の 2 種類の使用説明書があります。使用する目的に応じて、必要な説明書をお読みください。

- セットアップガイド（本書）

Desk Navi を利用するために必要な環境や、セットアップ方法を説明しています。

また、インストール後に必要な設定も記載しています。

- ユーザーガイド

Desk Navi の基本的な設定方法や操作の手順を、画面例を使って説明しています。

Desk Navi の動作環境

Desk Navi を利用するには、以下の環境が必要です。

項目	内容
コンピューター本体	PC/AT 互換機
CPU	Intel® Core™ 第 8 世代以降の CPU
メモリー	8GB 以上
ローカルストレージ	SSD プログラム領域：1,500MB 以上 文書保存領域：50MB 以上（200MB 推奨） ↓ 補足 <ul style="list-style-type: none">メール機能を利用する場合、上記容量に加え、受信するメール容量分の領域をメールの保存先として確保してください。
ディスプレイ	1,280×768 ピクセル（WXGA）以上必須
オペレーティングシステム（OS）	対応するオペレーティングシステムは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">Windows® 10 Home 日本語版（32bit/64bit）Windows® 10 Pro 日本語版（32bit/64bit）Windows® 10 Education 日本語版（32bit/64bit）Windows® 10 Enterprise 日本語版（32bit/64bit）Windows® 10 Enterprise LTSC 日本語版（32bit/64bit）Windows® 11 Home 日本語版（64bit）Windows® 11 Pro 日本語版（64bit）Windows® 11 Education 日本語版（64bit）Windows® 11 Enterprise 日本語版（64bit）Windows Server™ 2016 Standard 日本語版（64bit）Windows Server™ 2019 Standard 日本語版（64bit）Windows Server™ 2022 Standard 日本語版（64bit） ↓ 補足 <ul style="list-style-type: none">Windows® 10 は、October 2020 Update (Version 20H2) 以降に対応しています。（ただし、マイクロソフトがサポート中のもののみ）Windows® 10 Enterprise LTSC は、2019 (Version 1809) 以降に対応しています。

項目	内容
必須ソフトウェア	<p>本製品が動作するには、以下のソフトウェアのインストールが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • .NET Framework 4.x (4.7 以降)
対応ソフトウェア	<p>本製品の機能を使用するために、以下のソフトウェアを Desk Navi と同じコンピューターにインストールします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RICOH Eco Friendly Print UX 1.1.1.0 以降 Eco Friendly と連携した印刷を行うために必要 • Adobe® Acrobat® DC/2020 または Adobe Acrobat Reader™ DC PDF 文書をアプリケーションで開くために必要 • Microsoft® Office デスクトップアプリ版 Office 文書の閲覧、アプリケーションで開くために必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft® Office 2016 (32bit) ・ Microsoft® Office 2019/2021 (32bit/64bit) ・ Microsoft 365® Apps (32bit/64bit) • 一太郎 2021 以降 一太郎文書をアプリケーションで開くために必要 • DocuWorks 8 以降 DocuWorks 文書をアプリケーションで開くために必要
連携システム（接続先）	<p>以下のシステムまたはサービスを接続先として登録して、文書管理機能を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Ridoc Smart Navigator V1.3 以降（受信サーバー機能は V2 以降） • Ridoc Easy Sharing サービス
対応メールサービス	<p>本製品と連携して動作するメールサービスは、以下のとおりです。</p> <p>[]内は使用可能な送受信と認証方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RICOH ITKeeper メール&Web サービス [POP3 / SMTP-AUTH] • Microsoft 365® [EWS / OAuth] • Gmail™ [IMAP4S / SMTPS / OAuth] • OCN [IMAP4S / SMTPS / POP3S]

項目	内容
データを引き継いで本製品をインストール可能な旧製品	<p>本製品は、以下の旧製品がインストールされている PC にインストールし、データを引き継いで使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Ridoc Desk Navigator Ad • Ridoc Desk Navigator Ad V2 • Ridoc Desk Navigator St • Ridoc Desk Navigator St V2 • Ridoc Desk Navigator Lt V1 • RICOH Desk Navigator V3 • Ridoc Desk Navigator V4

↓ 補足

- 最新の動作環境や最新版の製品情報については、リコー公式サイト of Desk Navi 製品ページ (<https://office.solution.ricoh.co.jp/products/desknavi/spec>) を参照してください。
- Desk Navi と同じコンピューターにインストールできる Ridoc Document System 製品については、リコー公式サイト of Desk Navi 製品ページ (<https://office.solution.ricoh.co.jp/products/desknavi/spec>) を参照してください。

1. インストール

Desk Navi の概要と注意事項

Desk Navi の概要とインストール時の注意事項を説明しています。

Desk Navi の概要

Desk Navi は、多様なデータを簡単便利に管理できる文書管理機能、その文書管理と連動することでより効率的に利用できるメール機能やタスク管理機能により、オフィスでの業務を快適に行うことができる製品です。

Eco Friendly をインストールしておくで、連携した印刷ができます。

インストール時の注意事項

Desk Navi をインストールするときは、以下のことに注意してください。

★ 重要

- **Ridoc Smart Navigator V1** および **Ridoc Smart Navigator V2.2.6** 以前がインストールされている環境に、本製品のインストールはできません。
- **Ridoc Smart Navigator** と **Ridoc GlobalScan** の両方がインストールされている環境に、本製品のインストールはできません。
- **Desk Navi** のインストールには、インターネット接続が必要です。PC がインターネットに接続できることを事前に確認してください。
- **Desk Navi** をインストールするときは、ウィルスチェックのリアルタイム検索を無効にしてください。
- **Desk Navi** をインストールするときは、起動しているすべてのアプリケーションを終了し、コンピューターに印刷中のジョブがないことを確認してください。
- スキャナーを設定するためには、使用しているクライアント PC に、使用しているスキャナーに対応した **TWAIN** ドライバーのインストールが必要です。
- 印刷の機能を設定するためには、使用しているクライアント PC にそれぞれの機能に対応するプリンタードライバーのインストールが必要です。
- 機器を使用したファクスの機能を設定するためには、使用しているクライアント PC に **PC FAX** ドライバーのインストールが必要です。

- クラウド経由で **FAX** を送信するためには、**RICOH** クラウドファクス送信の契約と管理者による設定が必要です。

↓ 補足

- Eco Friendly はインストーラーに同梱されません。Desk Navi インストール時に表示される URL を参照してインストールできます。
- Desk Navi をインストールすると、Windows®ファイアウォール経由で使用可能にするために、必要なプログラムが Windows®ファイアウォールの例外として自動的に登録されます。

目 参照

- RICOH クラウドファクス送信の設定、使用時の制限事項については、RICOH クラウドファクス送信の製品マニュアル (https://sm.edw.ricoh.com/edw-ds/cloud_sendfax/docs) を参照してください。

Desk Navi とあわせてインストールされるツール

Desk Navi をインストールすると、あわせて以下のツールもインストールされます。

RICOH Desk Navi 通知プログラム

RICOH Desk Navi 通知プログラムを使用すると、指定したフォルダーから定期的にファイルを引き取り、監視先として設定した場所に登録・保存できます。監視先に新しいファイルを検出すると、クライアント PC に通知されます。また、監視先にファイルを自動保存できるので、ファイル操作にかかわる手間を省けます。

このツールは、Windows®の [スタート] – [RICOH Desk Navi] フォルダーから起動できます。

目 参照

- 新着通知やファイルの引き取りについて詳しくは、『ユーザーガイド』を参照してください。

Ridoc 個人文書コンバーター

Ridoc 個人文書コンバーターは、旧製品で登録されている文書を Desk Navi で使用する個人キャビネットや Ridoc 文書型キャビネットへ変換します。

旧製品で共有キャビネットを使用していたときは、本製品インストール後にこのツールでコンバートしてください。

このツールは、Windows®の [スタート] – [RICOH Desk Navi] フォルダーから起動できます。

シリアル番号設定ツール

シリアル番号設定ツールは、シリアル番号の登録状態の確認、新規登録、変更ができます。

本製品は、新規インストールの場合、利用期間限定のフリー版となります。インストール後にこのツールでシリアル番号を入力し、プレミアム版に変更してください。

このツールは、Windows®の [スタート] – [RICOH Desk Navi] フォルダーから起動できます。

設定エクスポートツール/設定インポートツール

ご利用中の RICOH Desk Navi の設定情報を書き出し、別 PC の RICOH Desk Navi へ適用するツールです。

例えば、Desk Navi をご利用中に新しい PC に買い替えたが、設定を引き継いで利用したい場合や、あるユーザーの設定を別のユーザーに適用したい場合などに利用できます。

参照

- ツールの使いかたについては、『設定エクスポート・インポートツールマニュアル.pdf』を参照してください。
- 『設定エクスポート・インポートツールマニュアル.pdf』は、初期設定のままインストールした場合「C:¥Program Files (x86)¥RICOH¥RICOH Desk Navi¥Manual」にあります。

変換取り込みツール

変換取り込みツールは、Windows®フォルダー内の複数ファイルを Desk Navi へ一括して文書登録するツールです。

一括登録時は、ファイルを自動的に画像または PDF に変換して登録することもできます。

参照

- ツールの使いかたについては、『変換取り込みツールマニュアル.pdf』を参照してください。
- 『変換取り込みツールマニュアル.pdf』は、初期設定のままインストールした場合「C:¥Program Files (x86)¥RICOH¥RICOH Desk Navi¥Manual」にあります。

インストール方法

Desk Navi のインストール方法には、以下の 3 通りがあります。

該当するインストール方法の説明を参照してください。

新規インストールする

旧製品のデータを引き継がない場合、または、初めて Desk Navi をインストールする場合

参照

- P.14「新規インストールする」を参照してください。

旧製品をアップデートしてインストールする（これまでと同じ PC で本製品を使用する）

旧製品がインストールされた環境を本製品にアップデートし、旧製品で使用していたデータを引き続き使用する場合

参照

- P.16「旧製品をアップデートしてインストールする（これまでと同じ PC で本製品を使用する）」を参照してください。

新規インストールで旧製品のデータを引き継ぐ（これまでとは別の PC で本製品を使用する）

旧製品がインストールされていない環境に本製品を新規インストールし、旧製品のデータを移行して引き続き使用する場合


参照

- P.21「新規インストールで旧製品のデータを引き継ぐ（これまでとは別の PC で本製品を使用する）」を参照してください。

インストールの実行

Desk Navi のインストール手順を説明します。

↓ 補足

- Desk Navi のインストールを実行するには、インストーラー ( Installer_RICOH_Desk_Navi.exe) が必要です。
- インストーラーは、リコー公式サイトの商品ダウンロードページから入手してください。製品ダウンロードページの URL は「<https://office.solution.ricoh.co.jp/dl/desknavi>」です。

新規インストールする

初めて Desk Navi をインストールする場合、または、旧製品のデータを引き継がない場合のインストール手順を説明します。

新規インストールの場合は、利用期間限定のフリー版としてインストールされます。プレミアム版に移行するときは、Desk Navi のインストール後にシリアル番号の登録も必要です。


Desk Navi をインストールする

新規に Desk Navi をインストールします。

★ 重要

- Desk Navi をインストールする PC がインターネットに接続されていることを確認してください。

1. インストーラー (Installer_RICOH_Desk_Navi.exe) をダブルクリックする。

 Installer_RICOH_Desk_Navi.exe と同じ階層に「RICOH Desk Navi インストーラー」フォルダーが作成され、インストーラーが展開されます。

↓ 補足

- メッセージが表示されたときは内容を確認し、[はい] をクリックしてください。

2. 最新バージョン取得の確認画面で [はい] をクリックする。

最新 Desk Navi パッケージのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、RICOH Desk Navi セットアップ画面が表示されます。

↓ 補足

- 最新 Desk Navi パッケージは、「X:\ProgramData\RICOH\RICOH Desk Navi\Installer」内にダウンロードされます。「X」は Windows® OS のインストールドライブです。

3. RICOH Desk Navi セットアップ画面で [インストール] をクリックする。



4. ソフトウェア使用許諾契約を確認し、同意して [次へ] をクリックする。

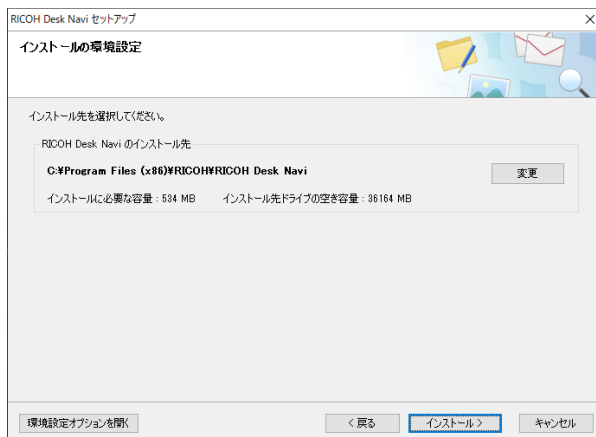
使用許諾契約画面の前にメッセージが表示されたときは、内容を確認し、指示に従ってください。

↓ 補足

- 使用許諾契約に同意すると、利用状況データの提供にも同意いただいたとみなします。提供を停止したい場合は、インストール後に設定変更が必要です。設定変更方法については、『ユーザーガイド』の「こんなときには」を参照してください。

5. インストールの環境設定画面で、インストール先を確認する。

インストール先を変更したいときは、[変更] ボタンをクリックし、インストール先のフォルダーを選択してください。



6. [インストール] をクリックする。

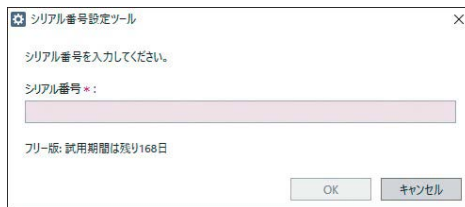
7. インストールが終了したら、[完了] をクリックする。

8. RICOH Desk Navi セットアップ画面で、[セットアップ終了] をクリックする。
ダウンロードした Desk Navi パッケージを削除するかの確認画面が表示されます。
9. ダウンロードした Desk Navi パッケージを削除する場合は [はい]、残す場合は [いいえ] をクリックする。

シリアル番号を設定する

プレミアム版に移行する場合、シリアル番号を設定します。

1. Windows® の [スタート] から [RICOH Desk Navi] フォルダーを選択し、[シリアル番号設定ツール] をクリックする。
2. [シリアル番号設定ツール] 画面でシリアル番号を入力し、[OK] をクリックする。



3. メッセージを確認し、[OK] をクリックする。

旧製品をアップデートしてインストールする（これまでと同じ PC で本製品を使用する）

これまでと同じ PC に Desk Navi をインストールし、旧製品で使用していたデータを引き続きで使用する場合のインストール手順を説明します。

旧製品の削除、旧製品の個人キャビネットのコンバートは、Desk Navi のインストール時に合わせて実行されます。

↓ 補足

- 個人キャビネット以外に追加で移行したい旧製品のキャビネットデータがある場合、Desk Navi のインストール後に Ridoc 個人文書コンバーターを使用し、手動でコンバートします。P.28「旧製品のキャビネットデータのコンバート」を参照してください。
- 旧製品をアップデートしてインストールする場合、旧製品のシリアル番号と、本製品のプレミアム版のシリアル番号が必要です。フリー版としてご利用いただくことはできません。


Desk Navi をインストールする

これまでと同じ PC に Desk Navi をインストールします。

★重要

- Desk Navi をインストールする PC がインターネットに接続されていることを確認してください。

1. インストーラー (Installer_RICOH_Desk_Navi.exe) をダブルクリックする。

 Installer_RICOH_Desk_Navi.exe と同じ階層に「RICOH Desk Navi インストーラー」フォルダーが作成され、インストーラーが展開されます。

↓ 補足

- メッセージが表示されたときは内容を確認し、[はい] をクリックしてください。

2. 最新バージョン取得の確認画面で [はい] をクリックする。

最新 Desk Navi パッケージのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、RICOH Desk Navi セットアップ画面が表示されます。

↓ 補足

- 最新 Desk Navi パッケージは、「X:\ProgramData\RICOH\RICOH Desk Navi\Installer」内にダウンロードされます。「X」は Windows® OS のインストールドライブです。

3. RICOH Desk Navi セットアップ画面で [インストール] をクリックする。



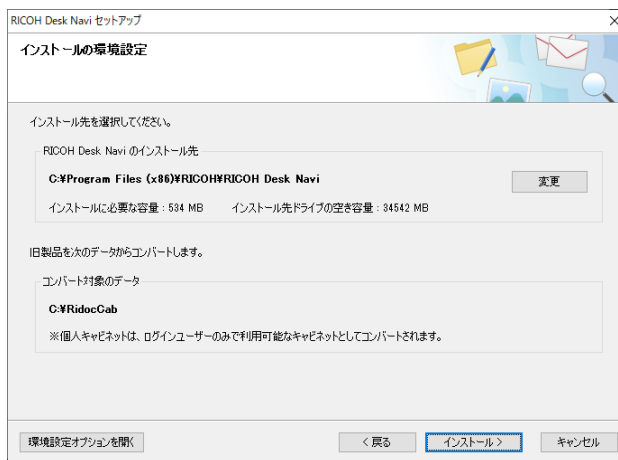
4. ソフトウェア使用許諾契約を確認し、同意して [次へ] をクリックする。

使用許諾契約画面の前にメッセージが表示されたときは、内容を確認し、指示に従ってください。

↓ 補足

- 使用許諾契約に同意すると、利用状況データの提供にも同意いただいたとみなします。提供を停止したい場合は、インストール後に設定変更が必要です。設定変更方法については、『ユーザーガイド』の「こんなときには」を参照してください。

5. インストールの環境設定画面で、インストール先とコンバート対象のデータを確認する。



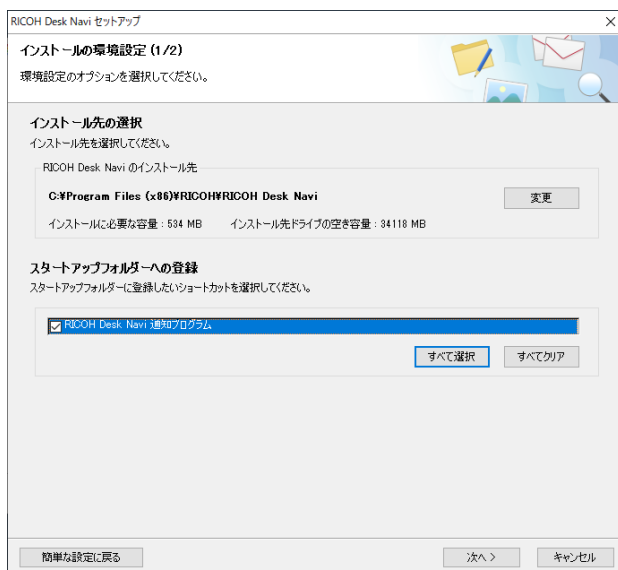
6. インストール先を変更したいときは、[変更] ボタンをクリックし、インストール先のフォルダーを選択する。
7. 旧製品のデータを共有のキャビネットへ移行したいときは、[環境設定オプションを開く] をクリックする。

旧製品のデータを、Desk Navi の個人キャビネットへ移行するときは、[インストール] をクリックし、手順 11 へ進みます。

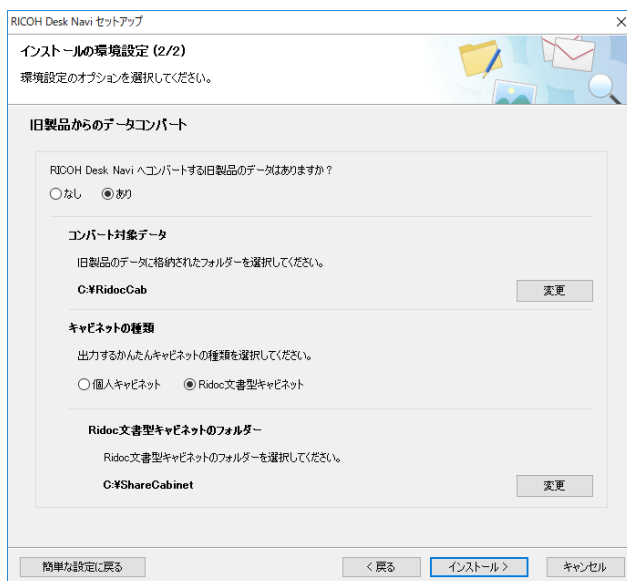
↓ 補足

- 旧製品が存在している場合、コンバート対象のデータは自動認識された場所が表示されています。

8. インストールの環境設定画面で、[次へ] をクリックする。



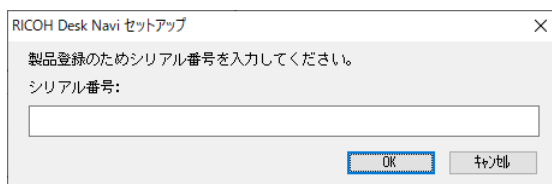
9. 旧製品からのデータコンバート画面で、[あり] にチェックを付け、以下の項目を設定する。



項目	内容
コンバート対象データ	<p>旧製品の個人キャビネットデータが格納されたフォルダーを確認します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧製品が存在している場合、コンバート対象のデータは自動認識されたフォルダーが表示されています。 キャビネットは1つしかコンバートできません。個人キャビネット以外に移行したいキャビネットがあるときは、インストール後にコンバートします。P.28「旧製品のキャビネットデータのコンバート」を参照してください。
キャビネットの種類	<p>旧製品の個人キャビネットデータを Desk Navi のどの種類のキャビネットへ出力するかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人キャビネット 使用している PC の決まった場所に作成されます。他の人とは共有できません。 Ridoc 文書型キャビネット 他の人と共有できるキャビネットです。キャビネットを作成するフォルダーを指定します。

10. [インストール] をクリックする。

11. Desk Navi のシリアル番号を入力し、[OK] をクリックする。



12. 旧製品のシリアル番号の確認画面が表示されたときは、旧製品のシリアル番号を入力し、[OK] をクリックする。

13. 旧製品のアンインストールの確認メッセージを確認し、[はい] をクリックする。

14. 旧製品のファイル削除の確認メッセージで、[OK] をクリックする。

旧製品がアンインストールされます。

↓ 補足

- 旧製品をアンインストールしても、スタートメニューの一覧に旧製品のプログラムフォルダーが残ることがあります。そのときは手動で削除してください。

15. メンテナンスの完了画面で [はい。今すぐコンピューターを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックする。

PC が再起動されます。Desk Navi をインストールするときに使用したアカウントと同じアカウントで Windows® にサインインしてください。

インストールが開始され、Desk Navi のセットアップ画面が表示されます。

↓ 補足

- メッセージが表示されたときは内容を確認し、[はい] をクリックしてください。

16. インストール完了のメッセージで、[完了] をクリックする。

↓ 補足

- 旧製品のデータを Ridoc 文書型キャビネットへコンバートした場合、Desk Navi の接続先設定で、かんたんキャビネットに Ridoc 文書型キャビネットを登録する必要があります。接続先設定については、『ユーザーガイド』の「接続先の設定」を参照してください。

新規インストールで旧製品のデータを引き継ぐ（これまでとは別の PC で本製品を使用する）

旧製品がインストールされた PC とは別の PC に Desk Navi をインストールし、旧製品で使用していたデータを引き継いで使用する場合はインストール手順を説明します。

旧製品の個人キャビネットデータは、Desk Navi のインストール時に合わせてコンバートされます。

新規インストールの場合は、利用期間限定のフリー版としてインストールされます。プレミアム版に移行する場合は、Desk Navi のインストール後にシリアル番号の登録も必要です。

↓ 補足

- 個人キャビネット以外に追加で移行したい旧製品のキャビネットデータがある場合、インストール後に Ridoc 個人文書コンバーターを使用し、手動でコンバートします。P.28「旧製品のキャビネットデータのコンバート」を参照してください。


Desk Navi をインストールする


これまでとは別の PC に Desk Navi をインストールします。

1. 旧製品を使用していた PC から、個人キャビネットデータが保存されていたフォルダー（RidocCab）を事前にコピーしておく。

↓ 補足

- ここでは新規インストールする PC の C ドライブ直下にコピーすることを前提に説明します。必要に応じてフォルダーを読み替えてください。
- 旧製品を使用していた PC の RidocCab フォルダーの場所は、インストール時に変更していなければ、通常は「C:¥RidocCab」です。

2. インストーラー（ Installer_RICOH_Desk_Navi.exe）をダブルクリックする。

 Installer_RICOH_Desk_Navi.exe と同じ階層に「RICOH Desk Navi インストーラー」フォルダーが作成され、インストーラーが展開されます。

↓ 補足

- メッセージが表示されたときは内容を確認し、[はい] をクリックしてください。

3. 最新バージョン取得の確認画面で [はい] をクリックする。

最新 Desk Navi パッケージのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、RICOH Desk Navi セットアップ画面が表示されます。

↓ 補足

- 最新 Desk Navi パッケージは、「X:¥ProgramData¥RICOH¥RICOH Desk Navi¥Installer」内にダウンロードされます。「X」は Windows® OS のインストールドライブです。

4. RICOH Desk Navi セットアップ画面で [インストール] をクリックする。



5. ソフトウェア使用許諾契約を確認し、同意して [次へ] をクリックする。

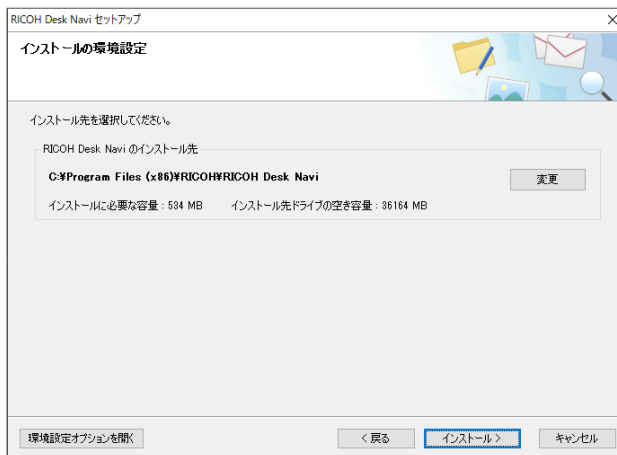
使用許諾契約画面の前にメッセージが表示されたときは、内容を確認し、指示に従ってください。

↓ 補足

- 使用許諾契約に同意すると、利用状況データの提供にも同意いただいたとみなします。提供を停止したい場合は、インストール後に設定変更が必要です。設定変更方法については、『ユーザーガイド』の「こんなときには」を参照してください。

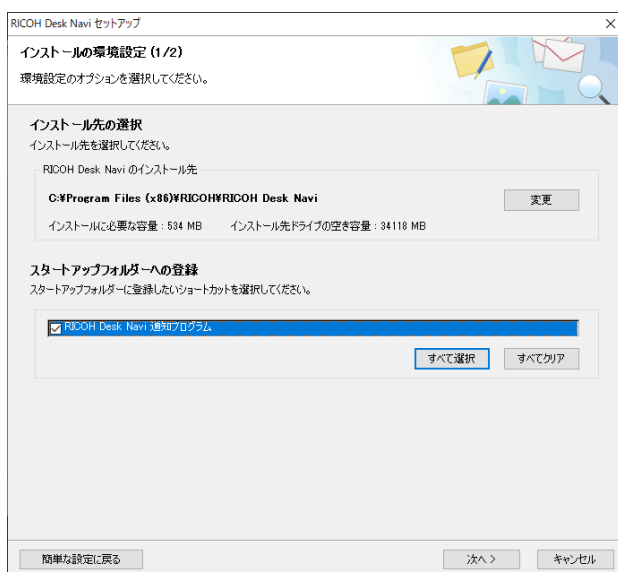
6. インストールの環境設定画面で、インストール先を確認する。

インストール先を変更したいときは、[変更] ボタンをクリックし、インストール先のフォルダーを選択してください。

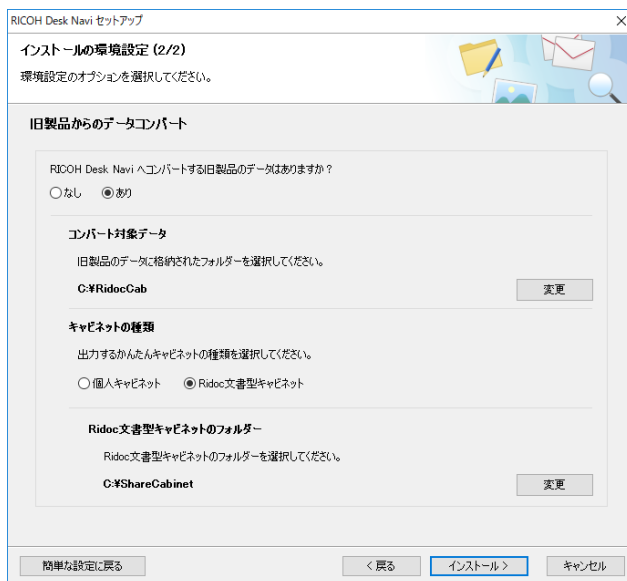


7. [環境設定オプションを開く] をクリックする。

8. [次へ] をクリックする。



9. 旧製品からのデータコンバート画面で、[あり] を選択し、以下の項目を設定する。



項目	内容
コンバート対象データ	<p>旧製品の個人キャビネットデータが格納されたフォルダーを指定します。</p> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手順 1 でコピーしておいた RidocCab フォルダーの場所 (C:¥RidocCab) を指定してください。 • キャビネットは 1 つしかコンバートできません。個人キャビネット以外に移行したいキャビネットがあるときは、インストール後にコンバートします。P.28「旧製品のキャビネットデータのコンバート」を参照してください。
キャビネットの種類	<p>旧製品の個人キャビネットデータを Desk Navi のどの種類のキャビネットへ出力するかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 個人キャビネット 使用している PC の決まった場所に作成されます。他の人とは共有できません。 • Ridoc 文書型キャビネット 他の人と共有できるキャビネットです。キャビネットを作成するフォルダーを指定します。

10. [インストール] をクリックする。

11. インストールが終了したら、[完了] をクリックする。

12. RICOH Desk Navi セットアップ画面で [セットアップ終了] をクリックする。

ダウンロードした Desk Navi パッケージを削除するかの確認画面が表示されます。

13. ダウンロードした Desk Navi パッケージを削除する場合は [はい]、残す場合は [いいえ] をクリックする。

↓ 補足

- 旧製品のデータを Ridoc 文書型キャビネットへコンバートした場合、Desk Navi の接続先設定で、かんたんキャビネットに Ridoc 文書型キャビネットを登録する必要があります。接続先設定については、『ユーザーガイド』の「接続先の設定」を参照してください。

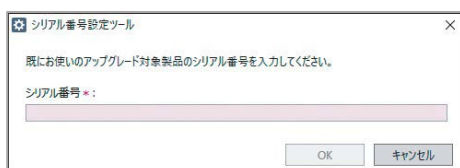
シリアル番号を設定する

プレミアム版に移行する場合、シリアル番号を設定します。

1. Windows®の[スタート]から[RICOH Desk Navi]フォルダーを選択し、[シリアル番号設定ツール]をクリックする。
2. Desk Naviのシリアル番号を入力し、[OK]をクリックする。



3. 旧製品のシリアル番号の確認画面が表示されたときは、旧製品のシリアル番号を入力し、[OK]をクリックする。



4. メッセージを確認し、[OK]をクリックする。

2. インストール後の設定

Desk Navi から他の機器、ソフトウェアへ接続するための準備

Desk Navi から SSL 通信が設定されている複合機に接続するとき、または IPP プロトコルで SSL 通信を利用して印刷やポートの追加をするときは、クライアント PC に証明書のインストールが必要です。

証明書のインストール（複合機するとき）

1. Web ブラウザーから下記の URL にアクセスする。
`https://xxx.xxx.xxx.xxx:nnnn/`
 - xxx.xxx.xxx.xxx は複合機の IP アドレスです。
 - nnnn は使用するポート番号です。
2. セキュリティの警告画面が表示されるので、[証明書の表示] をクリックする。
3. 証明書画面の内容を確認して内容に問題がなければ、[全般] タブを開き、[証明書のインストール] をクリックする。
4. 証明書のインポートウィザードが表示されるので、[次へ] をクリックする。
5. [証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[参照] をクリックする。
6. 表示された一覧から [信頼されたルート証明機関] を選択し、表示されたウィザードに従って、設定する。
7. ウィザードの途中で確認ダイアログが表示されたときは、[はい] または [OK] をクリックする。

旧製品のキャビネットデータのコンバート

本説明書のインストール手順で旧製品のデータを引き継いで Desk Navi をインストールした場合、旧製品の個人キャビネットデータはすでにコンバートされています。

Desk Navi のインストール時に個人キャビネットデータをコンバートしなかった、または、追加で移行したいキャビネットデータがある場合は、以下の手順でコンバートしてください。

↓ 補足

- キャビネットデータのコンバートは、1 つずつしかできません。

1. 移行したいキャビネットデータを Desk Navi をインストールした PC へ、事前にコピーしておく。
2. Windows® の [スタート] から [RICOH Desk Navi] フォルダーを選択し、[Ridoc 個人文書コンバーター] をクリックする。
3. [個人文書コンバーター] 画面で、旧製品のキャビネットデータをコンバートするための設定をする。

項目	内容
旧製品のキャビネットデータ	旧製品のキャビネットデータが格納されたフォルダーを指定します。

項目	内容
作成するキャビネット	<p>移行先の Desk Navi のキャビネットの種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人キャビネット 使用している PC の決まった場所に作成されます。他の人とは共有できません。 表示名を空欄にすると、既存の「個人キャビネット」に上書きされます。上書きしたくないときは、表示名を「個人キャビネット」以外で設定し、別の個人キャビネットを作成します。 Ridoc 文書型キャビネット キャビネットを作成するフォルダー（登録先）を指定します。他の人と共有することもできます。

4. [開始] をクリックする。
5. 終了メッセージを確認し、[閉じる] をクリックする。
6. 以下の場合は、**Desk Navi** の接続先の設定で、作成したキャビネットをかんたんキャビネット内に登録する。
 - Ridoc 文書型キャビネットを作成してコンバートした場合
 - 既存の「個人キャビネット」へ上書きせずに、別の個人キャビネットを作成してコンバートした場合

参照

- 接続先の設定方法は、『ユーザーガイド』の「接続先の設定」を参照してください。

補足

- 既存の「個人キャビネット」に上書きした場合、接続先の設定は不要です。

バックアップと復元

ハードウェア、ソフトウェアが正常に動作しなくなったときなどに備え、Desk Navi のデータをバックアップしておきます。

また、正常に動作しなくなったときは、バックアップしたデータを戻し、Desk Navi を復元します。

ここでは、Desk Navi 固有のデータのバックアップと復元方法を説明しています。

★重要

- データのバックアップは日々または定期的の実施してください。

バックアップ対象のデータ

バックアップ対象のデータとデータの場所は以下になります。

バックアップ対象	データの場所
個人キャビネット／メール／ 個人ルームのデータ	<ul style="list-style-type: none"> {ユーザーフォルダー*1}¥AppData*2¥Local¥RICOH¥ RICOH Desk Navi {ユーザーフォルダー*1}¥AppData*2¥Roaming¥ RICOH¥RICOH Desk Navi

*1: {ユーザーフォルダー}は、通常「C:¥ユーザー¥サインイン名」です。

*2: AppData フォルダーを表示するには、Windows®で「隠しファイル」の表示設定が必要です。

以下のデータのバックアップは本手順に含まれません。必要に応じて個別に対応してください。

個別対応が必要な バックアップ対象	バックアップ方法
Ridoc 文書型キャビネット／ ファイル型キャビネットのデータ	登録先のフォルダーを別途バックアップしてください。 登録先のフォルダーは、Ridoc 文書型キャビネット／ファイル型キャビネットのプロパティから確認できます。
おしごとルーム（共有ルーム） のデータ	登録先のフォルダーを別途バックアップしてください。 登録先のフォルダーは、共有ルームのプロパティから確認できます。
アドレス帳	アドレス帳をエクスポートしてください。 ⇒『ユーザーガイド』の「エクスポート手順」参照

個別対応が必要な バックアップ対象	バックアップ方法
メールのアーカイブデータ (初期設定と別の場所を指定 している場合)	アカウント情報画面の「[詳細設定] タブで「アーカイブの 保存先を指定する」の欄を確認し、バックアップしてくだ さい。 ⇒『ユーザーガイド』の「アカウントの設定」参照

↓ 補足

- 認証情報（ユーザー名・パスワードなど）はバックアップできないため、再度認証情報を設定してください。

データをバックアップする

Desk Navi のデータをバックアップする手順を説明します。

1. Desk Navi を終了する。
2. RICOH Desk Navi 通知プログラムを終了する。

↓ 補足

- Desk Navi と RICOH Desk Navi 通知プログラムが完全に終了しているか、Windows®タスクマネージャーの「[詳細]」タブで確認してください。「Rdn」から始まる以下のすべてのプログラムが表示されていなければ、プログラムは終了しています。
RdnAgent.exe、RdnClient.exe、RdnMain.exe、RdnNotifier.exe、RdnSettingSynchronizeProcess.exe、RdnStateSynchronizeProcess.exe

3. バックアップ対象のデータをコピーする。

以下の場所のデータをバックアップ対象とは異なる記憶装置にコピーしてください。

{ユーザーフォルダー}¥AppData¥Local¥RICOH¥RICOH Desk Navi

{ユーザーフォルダー}¥AppData¥Roaming¥RICOH¥RICOH Desk Navi

↓ 補足

- バックアップ対象と同じフォルダー階層でコピーしておくことをお勧めします。例えば以下のように、バックアップ対象とは異なる記憶装置の専用フォルダー内に日付フォルダーを作成し、AppData フォルダー以下を同じ階層でコピーしておきます。
Z:¥backup¥20200803¥AppData¥Local¥RICOH¥RICOH Desk Navi
Z:¥backup¥20200803¥AppData¥Roaming¥RICOH¥RICOH Desk Navi
- AppData フォルダーを表示するには、Windows®で「隠しファイル」の表示設定が必要です。

データを復元する

ハードウェア、ソフトウェアが正常に動作しなくなったときは、バックアップデータからデータを復元します。

ハードウェアの故障やシステム障害などにより、すべてのデータを一括で復元する方法と、特定のデータだけを復元する方法について説明します。

すべてのデータを復元する

ハードウェアの故障などにより、再インストール後にすべてのデータを復元する場合の手順を説明します。

1. Desk Navi を新規インストールする。



重要

- インストール先はバックアップ元の **Desk Navi** と同じフォルダーを指定してください。

2. Desk Navi を終了する。

3. RICOH Desk Navi 通知プログラムを終了する。

4. 復元前に、以下のフォルダーを別の名前に変更する。

{ユーザーフォルダー}¥AppData*1¥Local¥RICOH¥RICOH Desk Navi

{ユーザーフォルダー}¥AppData*1¥Roaming¥RICOH¥RICOH Desk Navi

例) 「RICOH Desk Navi」を「RICOH Desk Navi_20200803」などと変更

*1: AppData フォルダーを表示するには、Windows®で「隠しファイル」の表示設定が必要です。

5. バックアップデータの以下のフォルダーを、手順 4 で名前を変更したフォルダーと同じ場所にコピーする。

{バックアップデータの保存場所}¥AppData¥Local¥RICOH¥RICOH Desk Navi

{バックアップデータの保存場所}¥AppData¥Roaming¥RICOH¥RICOH Desk Navi

6. Desk Navi を起動する。

7. データが復旧されていることを確認し、問題なければ手順 4 で名前を変更したフォルダーを削除する。

以下の復元対象は、上記手順で復元できません。個別に復元してください。

個別対応が必要な復元対象	復元方法
メール	メールのアカウントを編集し、パスワードを再設定してください。 ⇒『ユーザーガイド』の「アカウントの変更・削除」参照
アドレス帳 (エクスポートしたアドレス帳がある場合)	アドレス帳のインポートをしてください。 ⇒『ユーザーガイド』の「アドレス帳の取り込み」参照
メールのアーカイブデータ (アーカイブ場所を初期設定と別の場所に行っている場合)	アーカイブデータを復元後、アカウント情報画面の「[詳細設定]」タブでアーカイブの保存先を指定してください。 ⇒『ユーザーガイド』の「アカウントの設定」参照
Ridoc 文書型キャビネット／ ファイル型キャビネット	バックアップしたキャビネットデータを任意の場所に復元してください。 表示されない場合は再登録してください。*1 ⇒『ユーザーガイド』の「キャビネットの登録」参照
おしごとルーム(共有ルーム)	バックアップした共有ルームのデータを任意の場所に復元してください。 表示されない場合は再登録してください。*1 ⇒『ユーザーガイド』の「おしごとルームの登録」参照
表示された個人キャビネット を選択時にエラーが表示された場合*1*2	ツリーエリアで個人キャビネット*2を選択して「登録先フォルダーが存在しません」というエラーになった場合、個人キャビネットの解除と、再登録をしてください。 ⇒『ユーザーガイド』の「キャビネットの解除」、「個人キャビネットの再登録」参照

*1: 復旧時に別の端末に他のアカウントでインストールを行うなど、ユーザーフォルダーが変わった場合などにエラーになります。

*2: Desk Navi のインストール時に自動で1つ作成される個人キャビネット以外のキャビネットです。キャビネット種別を「個人キャビネット」として追加登録したキャビネットを示します。

特定の個人キャビネット/個人ルームを復元する

特定の個人キャビネットまたは個人ルームに異常が発生した場合に、その個人キャビネット・個人ルームだけを復元する手順を説明します。

1. 対象のキャビネット/おしごとルームの登録先を確認する。
 1. Desk Navi のメイン画面で、対象のキャビネット/おしごとルームを選択する。
 2. 右クリックまたは [ファイル] メニューからプロパティを表示する。
 3. プロパティで登録先を確認する。
2. Desk Navi を終了する。
3. RICOH Desk Navi 通知プログラムを終了する。
4. 手順 1 で確認したフォルダーを別の名前に変更する。
5. バックアップデータから対象のキャビネット/おしごとルームのフォルダーを戻し先にコピーする。

バックアップしたデータの、手順 1 で確認したフォルダーを、手順 4 で名前を変更したフォルダーと同じ場所にコピーします。
6. Desk Navi を起動する。
7. データが復旧されていることを確認し、問題なければ手順 4 で名前変更したフォルダーを削除する。

3. アンインストール

本製品のアンインストール時の注意事項、アンインストール方法を説明しています。

アンインストール時の注意事項

本製品をアンインストールするときは、以下のことに注意してください。

★ 重要

- **Desk Navi** をアンインストールするときは、必ずインストール時に使用したユーザーアカウントで **Windows®** にサインインしてください。
- **RICOH Desk Navi** 通知プログラムが起動しているときは、アンインストール前に終了してください。**RICOH Desk Navi** 通知プログラムの操作方法については、『ユーザーガイド』を参照してください。

↓ 補足

- **Desk Navi** をアンインストールしても、文書の保存先フォルダーは削除されません。文書を構成する各セクションのファイルは削除されずに、文書の保存先フォルダーに残ります。
- **Desk Navi** をアンインストールしても、スタートメニューの一覧に **Desk Navi** のプログラムフォルダーが残ることがあります。そのときは手動で削除してください。

アンインストール方法

Desk Navi のアンインストール方法は、以下のとおりです。

1. **Windows®** の [スタート] から [設定] を選択し、[アプリ] をクリックする。
アプリと機能画面が表示されます。
2. [RICOH Desk Navi] を選択し、[アンインストール] をクリックする。
使用しているエディションやバージョンによっては、表示が異なる場合があります。
3. 確認画面で [次へ] をクリックする。
4. アンインストールのアンケート画面から、**Web** サイトでアンインストールキーを発行し、[次へ] をクリックする。
5. アンインストールキーを入力し、[アンインストール] をクリックする。
アンインストールが開始されます。
6. [閉じる] をクリックする。

4. 付録

旧製品から引き継がれる情報

旧製品を引き継いで RICOH Desk Navi をインストールする場合、旧製品のデータをコンバートします。

引き継がれる情報のうち、コンバートの前後では、以下の名称の違いが発生します。

旧製品での名称	RICOH Desk Navi での名称
おしごと	おしごとフロー
入力、出力、変換	ビルトイン機能
接続先	エクスプローラー（さまざまな接続先を含む機能の総称）

！ 制限

- 監視設定、スタンプ、ツール、ユーザーツールバー、認証情報は引き継がれません。

商標および著作権

Adobe、Acrobat、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

PDF は、Adobe 社が開発したファイルフォーマットです。

Gmail は Google LLC の商標です。

Intel、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft 365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Windows® 10 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 10 Home

Microsoft® Windows® 10 Pro

Microsoft® Windows® 10 Education

Microsoft® Windows® 10 Enterprise

- Windows® 11 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 11 Home

Microsoft® Windows® 11 Pro

Microsoft® Windows® 11 Education

Microsoft® Windows® 11 Enterprise

- Windows Server™ 2016 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server™ 2016 Standard

- Windows Server™ 2019 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server™ 2019 Standard

- Windows Server™ 2022 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server™ 2022 Standard

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

OCN は、NTT コミュニケーションズ株式会社の商標です。

DocuWorks は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の商標または登録商標です。

「一太郎」は、株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。

Foxit PDF SDK Copyright (c)2016, Foxit Corporation

www.foxitsoftware.com, All rights reserved

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

本書の説明および所有者の権利のために使用されます。この使用によって所有者の権利を侵害するものではありません。

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1-3-6 〒143-8555

<https://www.ricoh.co.jp>

